

高校生の自己肯定感を高め、ポジティブな変化をもたらす ワークショップを実施

報道関係者各位

ガールスカウト日本連盟（東京都渋谷区 代表：和田照子）は、パーソナルケアブランドのダヴと共に、自分の外見に対する自信のなさから、いろいろなことに挑戦できない少女たちに、ポジティブな変化をもたらすことを目指す「大好きなわたし」プログラムを提供しています。
8月13日（木）にユニリーバが開催する高校生インターンシップにて、「大好きなわたし」プログラムの講師をガールスカウトが担当します。

■ユニリーバ主催 2 DAYs 高校生インターンシップ（オンライン）

《日時》 2020年8月13日（木）

14:30～15:30 ダヴワークショップの講師を担当

《対象学年》 高校1年生～3年生（中学生も参加可）

《定員》 300人（先着順）

《場所》 オンライン（zoomを使用）

お申し込みはこちら（締切8月6日）17:00まで

<https://zoom.us/meeting/register/tJUtf-ivrDIItHdEAdBO4GYdRDSIMgFUwL5-0>

Free Being Me



Dove & the World Association
of Girl Guides and Girl Scouts

自分の容姿に自信の持てない日本の少女93%

自分の容姿に自信が持てない少女の割合は、世界平均54%であるのに対し、日本は93%という結果でした。これは世界でもっとも低い数値です（ダヴの調査より）。

多くの少女は、友達との会話やメディアの影響などを受けて、自分を前向きにとらえられませんが、

「大好きなわたし」プログラムでは、アクティビティ（ゲーム）を通して、等身大の自分を発見していきます。子どもたちは容姿や外見に自信が持てないと、やりたいことや将来の目標をあきらめてしまうことがあるため、このようなプログラムを通して自分を認め、自信を持てるようになることがとても大切です。子どもたちの自己肯定感を向上し、可能性を最大限に伸ばします。

アクティビティ例



わたしのロールモデル

自分のあこがれる人の特徴を声に出して、輪の周りを走るゲーム。人は人を見た目で判断していないことがわかります。

ガールスカウトでは、学校やコミュニティ、企業等でのワークショップを実施しています。

学校で：

参加後の生徒の表情や声のトーンが明るくなり、積極的な発言が多くなるなどの変化がありました。（教師）

コンプレックスがあったけど、自分は自分のままでいいんだと思えました。（高1男子）

コミュニティで：

自分の言葉がけが、子どもにどんな影響を与えているか知りました。（保護者）

企業研修で：

良い経験になり、接客の姿勢や家族に対しての言葉がけも見直します。（参加者）

パーソナルケアブランドのダヴと協働開発した本プログラムは、世界150の国と地域で展開され、2019年までに世界中で350万人以上、日本でも5万人以上が体験しています。